

「BBJ試料・情報を活用した『AIホスピタルシステム』の構築と その活用に関する共同研究」について

研究責任者：東京大学医科学研究所 シークエンス技術開発分野特任教授
東京大学大学院新領域創成科学研究科 クリニカルシーケンス分野 教授
松田 浩一

本研究では、内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP） AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム（以下、AIホスピタルグループ）との連携にて、バイオバンク・ジャパン（以下、BBJ）に保管されている約26.7万人の臨床情報を、安全性が確保された環境にて保管し、研究者がアクセス可能なシステム構築を実施します。さらに、AI分析技術等を用いて、疾患の発症、重症化、合併症の出現、予後等に関連する因子の探索を行います。

1. 研究の対象となる方

本研究は、下記の方を対象としております。

- ①2003年6月から2008年3月までに47種類の病気で協力医療機関※において治療されている患者さんで「オーダーメイド医療実現化プロジェクト（第1期・第2期）」に参加された方
- ②2013年4月から2017年5月までに38種類の病気で協力医療機関※において治療されている患者さんで「オーダーメイド医療の実現プログラム（第3期）」に参加された方

※協力医療機関

- ・株式会社麻生 飯塚病院
- ・学校法人 岩手医科大学
- ・独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
- ・地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター(旧 大阪府立成人病センター)
- ・公益財団法人 がん研究会有明病院
- ・国立大学法人 滋賀医科大学
- ・学校法人 順天堂
- ・地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
- ・医療法人 徳洲会
- ・学校法人 日本大学
- ・学校法人 日本医科大学
- ・公益財団法人結核予防会 複十字病院

2. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：臨床情報、生活習慣等

3. 外部への試料・情報の提供

上記情報は、所定の審査を経たのち、ID番号を付与した状況で、AIホスピタルグループが構築する安全性が確保されたデータベース及び、産業技術総合研究所のスパコン及び東京大学理学系研究科の

サーバーに提供されます。

4. 研究期間

2019年10月1日～ 2024年9月30日

5. 研究組織

【本研究の代表機関の研究責任者】

東京大学医科学研究所 シークエンス技術開発分野/

東京大学大学院新領域創成科学研究科 クリニカルシークエンス分野 松田 浩一

【本研究の共同研究機関の共同研究者】

東京大学医科学研究所 癌・細胞増殖部門 人癌病因遺伝子分野 森崎 隆幸

以下 AI ホスピタルグループ

医科学研究所/東京大学大学院新領域創成科学研究科 鎌谷 洋一郎

東京大学大学院理学系研究科 角田 達彦

株式会社 情報通信総合研究所 大平 弘

株式会社 NTT データ経営研究所 米澤 麻子

NTTデータ 高橋 弘明

NTTコミュニケーションズ株式会社 櫻井 陽一

ヒュービットジェノミクス株式会社 一圓 剛

日本ユニシス株式会社 八田 泰秀

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

【お問い合わせの窓口】

担当者：松田浩一（所属）東京大学医科学研究所 シークエンス技術開発分野

電話番号：03-5449-5376

住所：東京都港区白金台 4-6-1 東京大学医科学研究所内